

統計以外にも様々な経験ができます。

大臣官房政策課

大臣官房政策課食料安全保障室国際需給動向把握グループ
食料自給率専門職

辻 貫志

career

平成30年 入省（一般職（大卒程度）行政）
統計部経営・構造統計課畜産物生産費統計班畜産物生産費統計第1係
令和元年 統計部管理課総括班総括係
令和2年 統計部生産流通消費統計課面積統計班土地利用統計係
令和5年 現職



大臣官房食料安全保障室は、国民に対する食料の安定的な供給の確保という、農林水産行政のすべてと言ってもいい大きな使命を看板に掲げています。食料の安定的な供給の確保のためには、国内生産及び輸入双方の視点が必要であり、当室では、国内に対して、食料自給率（我が国の食料供給に対する国内生産の割合）を毎年公表するとともに、「食から日本を考える。ニッポンフードシフト」をスローガンとする国民運動を官民協働で取り組む一方、輸入の安定的な確保のため、国際的な穀物価格の動向及び需給見通しを把握しています。

国際需給動向把握グループでは、世界の穀物の価格動向及び短期的な需給見通しを把握・分析し、食料安全保障月報として毎月公表しています。私はとうもろこし及び大豆を担当し、各国政府のレポート、調査請負業者からの報告、穀物商社との定期的な情報交換を通じて、主要生産国の需給動向を日々把握しています。また、年一回、調査請負業者による現地調査があり、私は南米担当としてブラジル出張に同行し、穀物の生産状況や輸送インフラ等を調査しました。

昨今の気候変動やウクライナ情勢等により日本の食料安全保障上のリスクが顕在化していることを受けて、現在、不測時の食料安全保障に係る検討が進められており、国際的な穀物需給とともに、統計部で公表している作物統計における米や小麦の生産量等の豊凶といった統計データは、政策決定の基盤として、その重要性が高まっています。

私は、大学での農林業センサス分析を通じて、政策の意思決定だけでなく研究者に有用な統計データを提供したいと思い、農林水産省統計部を志望しました。現職でも、政策決定者のニーズを満たすだけでなく、研究者や食品加工業者等に貢献できるように的確かつ迅速な情報把握、データ提供を努めていきたいです。

育児休業・ワークライフバランス

センサス統計室農林漁業担い手統計班就業統計第1係

加藤 江理花

career

平成30年 入省（一般職（大卒程度）行政）
統計部経営・構造統計課営農類型別経営統計班
野菜・果樹花き経営統計係
平成31年 統計部統計企画管理官付統計企画班企画第1係
令和2年 統計部センサス統計室農林業センサス統計第1班センサス統計第3係
令和4年 現職
令和5年 育児休業（約1年）



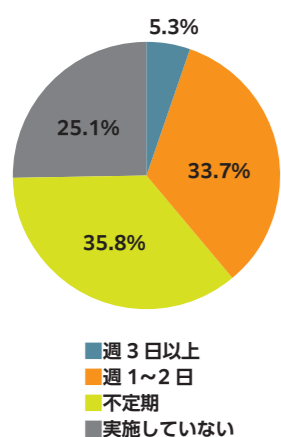
私は、令和5年3月に第1子を出産し、現在は1年間の育休を取得中です。産休・育休を取得していた人が身近に居なかったため、こういった流れで取得すればいいかわからなかったのですが、緊張しながら上司に相談したところ、喜んで相談を受けてくださり、とても安心したことを覚えています。余った有給休暇も活用して十分な産前休暇をいただくことができました。

私が妊娠したころは、新型コロナウィルスの感染が拡大しており、統計部ではテレワークの推進が行われていました。つわりによって体調が優れない時も自宅で仕事をできる環境が整備されていたおかげで、出勤の負担を減らし、リラックスした自宅で仕事を進めることができました。農林水産省では、テレワークの他にも時差出勤やフレックスタイム、妊婦健診のための特別休暇など出産をサポートするような様々な制度があります。産後も、子供の保育園の送り迎えや急な病気などには、時差出勤やテレワーク、子の看護休暇など、充実した育児支援制度があります。

出産にかかわる制度以外にも、様々なライフワークのバランスをとることに役立つ制度がありますので、入省された際は、ぜひ制度を利用し、楽しく仕事に取り組んでいきましょう。

育児休業のほかにも、育児時間や早出遅出勤務といった各種制度の活用や、テレワーク勤務など、ワークライフバランスに資する柔軟な働き方がしやすい職場環境です。

統計部職員のテレワークの実施頻度



育児時間制度

…子が小学校就学の始期に達するまで、子を養育するために認められる、正規の勤務時間の初め又は終わりに1日につき2時間以内勤務しないことが出来る制度。

育児時間制度を利用する職員のとある1日

05:45 起床
06:00 朝食準備、お弁当作り、身支度
07:20 子どもを起こす、子どもの身支度、朝食
07:50 家を出発
08:30 勤務開始
12:00 退庁
13:00 自宅でテレワーク勤務開始
15:45 勤務終了
※1日1時間30分の育児時間（正規の勤務時間は17:15まで）
16:30 保育園お迎え
17:30 子どもとお風呂、家事、夕食準備
20:00 夕食
21:30 子どもを寝かしつける、洗濯
22:30 就寝

早出遅出勤務

…育児や介護、公務の能率性向上のため勤務時間をずらすことを認められる制度。

早出遅出勤務を利用する職員のとある1日

06:30 起床
06:40 朝食、身支度
07:10 家を出発
08:00 勤務開始
16:45 退庁
※1時間30分勤務時間を前倒し（正規の勤務時間は9:30~18:15）
17:45 帰宅
17:45 夕食
18:15 外出
19:00 地域のサークル活動
21:00 買物
21:30 帰宅
21:45 お風呂、家事等
23:30 就寝

総務省統計局

総務省統計局統計調査部国勢統計課
労働力人口統計室審査発表第一係

吉松 佑輔

career

平成30年 入省（一般職（大卒程度）行政）
統計部生産流通消費統計課企画班企画係
平成31年 統計部経営・構造統計課営農類型別経営統計班畜産物経営統計係
令和3年 大臣官房広報評価課評価班評価第2係
令和5年 現職



学生時代に統計学を学んでおり、政策立案の基盤となる統計データを作成する仕事がしたいと思ったことや、農林水産省統計部独自で採用を行っており、専門性を高めていけることに魅力を感じたため、農林水産省統計部を志望しました。

出向先の総務省統計局は、国家の政策判断や国民・企業等の意思決定に不可欠な「社会の情報基盤としての統計」の整備と提供の推進を行っている組織です。また、政府統計の中核的機関として、統計情報の発信、高度利用の推進、統計リテラシーの向上・発展、統計マイクロデータ（調査票情報）の二次的利用の推進といった、統計情報の提供の戦略的取組も進めています。

私は、日本の就業や失業などの状況を明らかにすることを目的として毎月実施している「労働力調査」を担当しています。「就業者数」や「完全失業率」などの調査結果は、景気判断や雇用対策等に活用されており、公表の翌日に記事になることや新聞社などからの問合せも多いため、注目されているのだと日々感じています。出向したばかりで分からないことも多く、問合せに即答できないこともあります。職場のみなさんが丁寧に教えてくださるため、調査への理解を深めながら充実した日々を送っています。

統計というと難しいように感じる方もいるかと思いますが、農林水産省統計部は研修制度が充実しており、入省してから十分な専門的知識を身につけることが出来ます。また、分からないことや困ったことがあっても相談しやすいアットホームな職場であり、働きやすい環境だと思っています。

また、現職の前は、大臣官房広報評価課（統計部以外の省内外他部局）にも異動しており、統計業務以外にも他部局や他省庁などで様々な業務を経験する機会もあります。様々な業務を経験することで、改めてエビデンスとしての統計の重要性を感じる事が出来ています。少しでも興味を持っていただけた方は是非業務説明会等にお越しください。

地方にも活躍の場があります。

北陸農政局

北陸農政局統計部調整課課長補佐

吉江 健司

志望動機

漠然とですが、地域に根差した仕事がしたいと思っていたところ、農林水産業や農山漁村の振興に取り組む農林水産省なら必ずそのような機会を得られると思ったのが動機です。

career

平成 15 年 入省（Ⅱ種行政）
 関東農政局群馬統計情報事務所前橋出張所
 平成 21 年 大臣官房環境バイオマス政策課環境管理班環境管理係長
 平成 23 年 統計部経営・構造統計課営農類型別経営統計班動向統計係長
 平成 27 年 統計部経営・構造統計課分析班所得統計係長
 平成 30 年 大臣官房広報評価課広報企画班広報企画第4係長
 平成 31 年 大臣官房広報評価課企画調整班企画係長
 令和 2 年 統計部管理課総括班総括係長
 令和 5 年 現職



地方農政局統計部のミッション、現在の仕事内容

北陸農政局は、農林水産省の出先機関として、新潟、富山、石川、福井の4県を管轄し、霞が関の本省が企画・立案した施策を農林水産業の現場で推進するとともに、現場のニーズを把握し、その声を施策にフィードバックする役割を担っています。

私が所属する北陸農政局統計部は、管轄する各県に所在する地域拠点と協力して統計調査を実施することが最大のミッションです。北陸地域は、我が国有数の米どころであるため、私達が実施する米の収穫量調査には、特に県民の高い関心が注がれている地域でもあります。そのような土地柄の上に令和5年は夏場の記録的な高温・少雨によって米の生育が危ぶまれ、私たちの調査結果に大きな注目が集まりました。統計調査の公表日には、北陸地域のマスコミ関係者向けに管内各県の調査結果を丁寧に説明し、その結果、新聞やテレビなどのメディアを通じて広く県民に米の作柄の状況を正しい認識のもとで伝えていただきました。実施した統計調査をこのようにローカライズして発信することも地方農政局の役割のひとつです。

また、昨今は統計部が持つデータ処理や統計分析に関する知見を活かして、地域の課題や現状を統計的視点から分かり易く表現し、施策担当者や市町村等が推進する農林水産施策をサポートする統計分析も大切な役割となっています。

職場の雰囲気

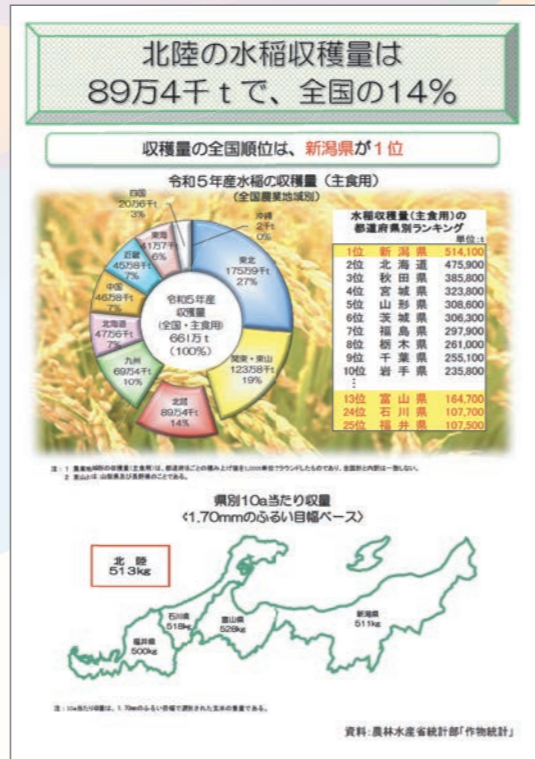
何か困ったことが起きた時、大きめの独り言をつぶやけば、2人3人が反応し、5人6人が解決に向けて一緒に考えてくれるような、そんなアットホームな職場です。もともと数字を扱う仕事のため、一人で抱えようとミスも起こりやすく、複数人で協力してチームで仕事をする文化が自然と根付いてきたのだと思います。

これは、皆さんのように初めて統計業務に携わる方がスムーズに組織の一員として力を発揮していただく上で、とても良い職場環境だと思います。

学生へのメッセージ

私もそうでしたが、就職活動の時に明確な将来ビジョンを描くのは難しいと思います。そういった意味でも農林水産省統計部には、学んできたことや得意分野の活かし方、働き方や働く場所も含めて様々な可能性・選択肢がありますので、働きながらゆっくり人生設計を立てることが出来ます。

業務説明会に参加して、先輩達の経験談などを聞いてみてください。



九州農政局

九州農政局統計部生産流通消費統計課係員

久嶋 萌々子

志望動機

留学経験から、日本の「食」に携われる農林水産省を志望しました。公共財として将来に残る統計を通して社会貢献したいと考え、統計という専門性をもって政策の基盤を担う業務内容に魅力を感じたのも、入省のきっかけです。

career

平成 30 年 入省（一般職（大卒程度）行政）
 統計部統計企画管理官付統計企画班企画第1係
 平成 31 年 統計部経営・構造統計課営農類型別経営統計班動向統計係
 令和 3 年 九州農政局統計部統計企画課
 令和 4 年 現職



現在の仕事内容

当課では、農作物の面積や収穫量に関する作物統計調査等を実施しています。その中で私は、さとうきび、いぐさ調査の担当です。調査票の送付、回収、照会、関係機関への情報収集、検討後、調査結果を本省へ報告します。実際に農作物を見て、生産者から話を聞くこともあります。

本省業務では、全国の農政局から報告された調査結果を集計、検討、公表していたので「ゴール」する達成感がありました。一方、局業務では調査実務を担い、現場の実態を把握することに、「緑の下の力持ち」としてのやりがいを感じます。そのように、本省と農政局は異なる点もありますが、正確で効率的な統計調査、利活用されるデータ分析のため、連携している点は共通です。

最も印象に残っている出来事・経験

九州農政局での勤務が印象的です。

局勤務では、製糖工場、いぐさ生産者、県庁等の様々な関係者がいるので、統計調査が多くの人の協力によって成立していると実感します。置織機の前で生産者の想いを拝聴する等、調査結果を身近に感じられることもおもしろいと思います。

また、局内横断の若手職員業務では、環境に配慮した農業に熱心な現場取材し、Instagram (@maff_kyushu) で紹介しています。若手職員が新規プロジェクトにチャレンジできる職場にも恵まれています。

学生へのメッセージ

出張時のランチは、郷土料理や旬を味わえる店を選び、地元の「食」を満喫しています。そうして出張という「仕事」も美味しくこなす職場の雰囲気は、楽しくて安心します。おかげで初めての転勤も居心地が良いです。

公的統計は、政策だけでなく、ニュース、教科書、研究、政策等、色々な分野で皆が使える長期的な公共財です。現在の調査結果が未来の誰かの役に立つ、そんなバトンと一緒につないでみませんか。お待ちしております。

地方農政局係員の1日

08:30	出勤 フレックスタイムで、出勤時刻は人それぞれ
10:00	打合せ テレワークの人はオンラインで参加します☆
12:00	昼食 お弁当、食堂、外出など、自由にリフレッシュ！
14:00	調査結果の検討 過去データ、気象表、新聞を参考に、要因分析
15:30	Instagram 原稿打合せ インスタ映えを狙って、アイデア交換
17:15	退庁 飲み会も時々あって楽しいです♪



休日に同僚と一緒に阿蘇へ！

新規採用者 採用実績

統計部では平成 28 年度以降、統計の専門的知識を身につけた職員を育成するために、独自に採用を行っております。

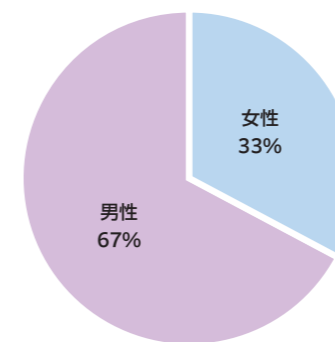


R5 年度新規採用者 計 11 名

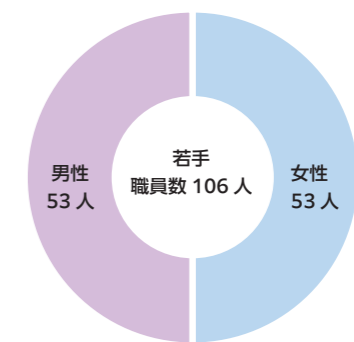
採用実績（試験区分別）

試験区分		H28	H29	H30	H31・R1	R2	R3	R4	R5	R6
一般職事務系（大卒程度）	行政	2	12	14	6	10	14	9	6	12
	農学	-	-	-	-	3	1	2	3	1
一般職技術系（大卒程度）	化学	-	-	-	-	1	2	2	2	1
	デジタル・電気・電子	-	-	-	-	1	1	-	-	1
合計		2	12	14	6	15	18	13	11	15

統計部男女別割合



採用実績（H28～R6）の男女別割合



※令和 6 年 1 月 1 日現在の職員数

統計部でいっしょに仕事ませんか

統計品質向上室長

都田 幸伸

career

平成元年 入省（Ⅱ種農学）
中国四国農政局岡山統計情報出張所
平成 9 年 経済局統計情報部企画調整課
開発班開発第 2 係長
平成 11 年 外務省出向（在レバノン日本国大使館）
平成 14 年 大臣官房統計情報部統計調整課 システム企画調整班調整係長
平成 19 年 九州農政局統計部統計調整課課長補佐
平成 21 年 統計部統計企画課課長補佐（総合解析班担当）
平成 24 年 統計部経営・構造統計課課長補佐（畜産物生産費統計班担当）
平成 26 年 統計部統計企画管理官補佐（統計企画班担当）
令和元年 統計部統計企画管理官補佐（総括）
令和 4 年 中国四国農政局地方参事官（鳥取県担当）
令和 5 年 現職

農林水産統計は農林水産行政に必要な情報インフラ

農林水産省は、生命を支える「食」と安心して暮らせる「環境」を未来の子どもたちに継承していくことを使命としています。農林水産省統計部はこの達成に必要な農林水産統計データを EBPM(Evidence Based Policy Making) を支える情報インフラとして作成・提供しています。お米の生育状況や野菜の値段の動き、農林漁業就業者の数などは統計部が統計調査を実施して把握し、tableau（分析ツール）や GIS（地理情報システム）と組み合わせるなどして、利用者が使いやすいように工夫して提供しています。統計の作成過程では、世の中の変化に対応し、統計データを効率的・安定的に提供していくため、人工衛星データを利用して作物の生育状況を予測したり、AI を利用して農作物の作付の様子を把握するなど、これまで統計作成には利用してこなかった、新技術の利用に積極的に取り組んでいます。また、これまで培った統計作成のノウハウは、ASEAN 地域等へ職員を派遣し、技術協力プロジェクト（ODA）を実施するなど国際貢献の取り組みも行っています。

勤務地や業務のイメージ

令和 7 年度の新規採用者から、地方農政局等の統計部を主としたキャリアを歩む方と本省の統計部を主としたキャリアを歩む方を区分して採用することとしています（どちらのキャリアを選択するかはご自身の希望によります。）。いずれのキャリアも採用されると、まずは、東京・霞ヶ関での勤務となります。特に、地方農政局等の統計部でキャリア形成となる方は、東京で 2 年間経験を積んだ後、3 年目以降は、ご自身の希望する地元または地元近隣の全国 8 か所ある地方農政局等での勤務となりますので、地元志向のある方にはおススメです。仕事は、農林水産統計調査の企画・設計、実査・取りまとめ、結果の公表等それぞれの行程ごとに、担当チーム内で役割分担し、協力し合いながら、農林水産省内の政策担当部局や地方農政局、地方自治体、民間事業者と連携して作業を進めていきます。

スキルは入省後に身につく仕組みになっています

統計部での仕事は統計を専門的に学んだ経験が無くても心配はいりません。統計業務に必要な知識やスキルは、入省後に業務を行いながら、研修（基礎的なものからデータサイエンスに関する専門的な研修などバラエティが豊富）を受講したり、先輩等からのアドバイスにより安心して身につけることができる仕組みになっています。

得意なこと好きなことを生かして

これから仕事をしていく上で大切なのは、一人一人が心身ともに健康で明るく、楽しくいられることです。統計部では、仕事の繁閑やライフステージに合わせて、テレワークやフレックスタイム、育児休暇等による柔軟な働き方により、自分の時間や趣味、挑戦、個々の成長、家庭、人付き合い等を大事に、仕事とプライベートのそれぞれが充実できる、ワークライフバランスを大切に環境づくりに積極的に取り組んでいます。人にはそれぞれ得意なこと、好きなことがあります。人によってそれは多種多様です。統計部で仕事をしていく中では、統計作成に関する経験はもちろんのこと、データ分析、統計データの集計プログラムの作成等の情報システム、データベースの運用、広報普及、統計調査員のリクルート・マネジメント、民間事業者への調査のアウトソーシング、生成 AI などの新技術の活用検討、海外協力など様々な分野を経験することができます。

これらの経験を通じて、自分の得意なこと、好きなことを発見し、これを生かして、統計部でいっしょに仕事しませんか。



統計部職員一同、お待ちしております！

1年目職員の座談会

令和5年度入省の4名から業務内容や入省のきっかけ、職場の雰囲気を感じました。

入省の動機、きっかけ

小口 就職先を選ぶ際に「幅広く多くの人のためになる仕事がしたい」と考えていたことから、誰にとっても欠かせない「食」に携わり人々の生活を支えている農林水産省に興味を持ちました。採用イベントに参加する中で、統計部は政策立案の基盤となる統計を作成するという重要な役割を担っていると知り、業務内容に興味を持ったことや、統計部の温かく働きやすい雰囲気にも惹かれたことから統計部を志望しました。

日野 大学時代の講義を通して統計に関心を持ち、説明会や座談会に参加する中で、統計の重要性を知り、志望しました。また私自身は学生時代に統計学を学んではいみせませんが、研修などを通して学んでいくことが出来るとお伺いし、統計初心者でも働きやすい環境だなと感じたことも動機の1つとなりました。

加納 農業を営んでいた祖父母の離農をきっかけに、これからの農林水産業について考えることがあり、農林水産省に興味を持ちました。また、説明会に参加する中で、政策の方向性を決める指針となる統計業務に関心を持ちました。学生時代は統計学に触れてこなかったため不安もありましたが、研修等によるサポート体制の充実、働きやすい職場環境であることを知り、統計部を志望しました。

福留 大学時代に所属していた研究室で統計的なデータを作成する機会があり、それ以来統計を作ることに興味を持ちました。また、祖父が稲作を行っていたこともあり、農業には小さいころから触れていたことも農林水産省を希望した理由の一つです。

現在の仕事内容

小口 私は管理課総務班に所属しており、主に研修と服務関係の業務を担当しています。統計部主催の研修実施に向けた準備をしたり、他部局や他省庁主催の研修も多くあるので、部内職員への連絡や事務的な作業を行ったりしています。服務関係については、統計部職員の超過勤務時間数や年休取得状況の取りまとめ、フレックス制度の申請対応などを行っています。



管理課総務班管理・厚生係
小口 奈菜



センサス統計室
農林業センサス統計第1班
センサス統計第1係
日野 皓太

日野 私は農林業センサス統計第1班に所属しています。農林業センサスでは、農林業・農山村の現状と変化を的確に捉え、きめ細かな農林行政を推進するために、5年ごとに農林業を営んでいるすべての農家、林家や法人を対象に調査を実施しております。その中で私は都道府県や一般の方からの過去センサスに関する問い合わせ対応等の業務や2025年センサスの調査準備を担当しています。

加納 私の所属する耕地面積統計班では、耕地及び作付面積に関する統計調査を行っています。主な業務内容は、地方組織から報告される調査データの取りまとめ、公表資料の作成です。加えて、政策部局や地方組織等からの照会対応、依頼に応じたデータ提供の対応、次年度以降の調査に向けた準備などを行っています。

福留 私は消費統計室の価格・消費動向班に所属しています。野生鳥獣資源利用実態調査（ジビエ調査）を担当しており、全国の調査対象者から提供いただいた野生鳥獣の解体数や販売数量・金額などのデータの取りまとめ、公表資料の作成などを行っています。一年間を通して行う調査なので、季節ごとに取り組む業務が大きく異なります。

入省前後の統計部のイメージ、職場の雰囲気

小口 説明会や座談会などに参加して想像していたイメージ通り、穏やかで優しい方が多い職場だなと感じています。分からないことがあったら上司や周りの方にすぐに聞くことができますし、いつも丁寧に教えてくださるので、安心して業務に取り組んでいます。また、休暇も取得しやすく働きやすい職場だと実感しています。

日野 入省前に参加した説明会や座談会で感じた印象と変わらず、働きやすい職場だと感じました。仕事を行っていく中で出る疑問や分からないことがあれば、気軽に相談できるので、一人で悩み続けることなく安心して働くことができています。

加納 入省前後でイメージの変化はなく、優しく、穏やかな人が多い職場だと感じています。仕事をすることで不明点・疑問点については、上司や周囲の先輩が



丁寧に説明してくれるため、積極的に物事を聞きやすい環境が整えられていると思います。また、休暇の取得について気軽に相談ができ、働きやすい職場だと感じています。

福留 入省前は大きな不安を抱えていましたが、今では働きやすい環境だと感じています。上司の方が丁寧に対応してくださるので抱え込むことは無く、安心して業務を行えます。また、部全体としても働きやすい職場環境の整備に力を入れているので、今後も環境はどんどん良くなると思います。

余暇の過ごし方

小口 休日はドラマや映画を見たりして家でのんびり過ごすか、学生時代の友人とご飯に行くことが多いです。旅行に行ったり、好きなアーティストのライブに行ったりすることもあります。

日野 休日は美味しいものを食べに行くことや、家でゆっくり過ごすことが多いです。また、シーズン中（4月～10月）は同期とプロ野球の試合観戦をしたりしています。

加納 家でサッカー観戦をするか、テレビを見ながらゆったり過ごすことが多いです。また、体を動かすことが好きなので、月1回程度フットサルをしています。

福留 ツーリング、映画・アニメ鑑賞、ショッピングなど様々なことをして過ごしています。自宅にこもってお酒を片手に映画を見ることが自分の中で最近のブームです。



生産流通消費統計課
面積統計班耕地面積統計係
加納 陸冬



消費統計室
価格・消費動向班消費動向係
福留 健登

学生へのメッセージ、就活中にやっておいた方が良いこと

小口 説明会や座談会などに積極的に参加して実際に働いている職員の話や聞くことで、自分に合った就職先を見つけられると思います。就活中には悩むことも多いかと思いますが、一人で抱え込まず周りの人に相談しながら進めてみてください。

日野 就職活動中はやることが多いとは思いますが、リラックスする時間を作り、気分転換するのも大切だと思います。皆さんの就職活動が最良のものとなるよう応援しています。

加納 説明会や座談会に参加することで、仕事内容への理解が深まり、職場の雰囲気のある程度把握出来るため、ぜひ参加してみてください。皆さんが後悔なく就職活動を終わられるよう応援しています。

福留 情報を集めることが重要だと思います。知らないことを知ることで自分の可能性が大きく変わるので、座談会や説明会等の情報が集まる所に積極的に参加することを勧めます。



9:30 出勤

メールを確認し、作業依頼を確認します。



11:00 情報収集

農産物生産費に関する報道等の情報を収集し、問い合わせに対応します。



12:00 昼食

基本的には同期と外で食べます。お店は多いので、飽きません。

13:30 打ち合わせ

業務に関係する打ち合わせを会議室で行います。オンラインで行う場合もあります。

16:00 取りまとめ

公表に向けた取りまとめの作業を行います。数値・体裁等の確認を行います。

18:20 退庁

今日の業務の進捗状況を確認し、退庁します。



入省の動機、きっかけ

大学時代に計量経済学を専攻しており統計に興味がありました。様々な説明会に参加する中で、統計部が一番合っていると思い志望しました。



現在の仕事内容

私は、経営・構造統計課の農業経営統計調査の中でも農産物生産費を担当しております。農産物生産費では、小麦、大豆などの畑作の生産費を公表しております。

入省前後の統計部のイメージ、職場の雰囲気

入省する前から話しやすいイメージをしていましたが、入省後もその印象は大きく変わっていません。仕事内容について相談しやすく、仕事に取り組みやすい雰囲気があります。



余暇の過ごし方

仕事終わりに映画鑑賞をすることが多いです。週末は同期と飲みに行くこともあります。

学生へのメッセージ、就活中にやっておいた方が良いこと

経営・構造統計課
農産物生産費統計班
農産物生産費統計第2係

羽賀田 将貴

就活中は、様々な情報に触れ、選択肢を広げてください。数ある選択肢の中から選ぶことで、納得のいく就活になります。また学生の時に会った人を大切にして、思い切り楽しんでください！



9:25 出勤

メールや Teams をチェックし、スケジュールや作業依頼、業務を確認します。

10:30 外国とのオンライン打合せ

他国、他機関と協同して実施している事業の進捗状況や、出張・現地調査の日程調整等に関する打合せに参加します。長年にわたる相互協力により良好な関係が築かれており、終始和やかなムードです。



12:00 昼食

週末に作り置きしたおかずをつめたお弁当を、ドラマを見ながら自席で食べることも多いですが、天気の良い日には、先輩や同期、近くで働いている友人とお店や公園に行き食べることがあります。

14:00 国際機関へのデータ提供

国際機関等から日本の農林水産統計データの提供依頼の連絡があった際、求められているデータを探し、担当課に確認のうえ提供します。誤った数値を提供しないよう注意を払います。

17:00 資料閱讀、翻訳作業

日々、様々な事業に関するメールや英文資料が送られてくるので、訳しつつ閲読し進捗状況を把握し整理しています。まだまだ知らない単語や専門用語がたくさんあり、勉強になっています。

18:15 退庁

明日のスケジュールを確認し、退庁します。友人と夜ご飯を食べに行くこともあります。



入省の動機、きっかけ

人々が生きていくうえで必要不可欠である「食」に関心があり、農林水産省への入省を希望していました。中でも、様々な補助金算定や施策立案の根拠として重要な役割を果たしている農林水産統計に魅力を感じ、統計部を希望しました。

現在の仕事内容

海外協力班に所属し、部内職員の海外出張時の事務手続きや在外日本大使館との連絡、国際機関への統計データ提供業務等を行っています。1年目ながら自分が海外出張に行く機会もあり、非常に充実しています。



海外出張で国際会議に出席 (タイ)

入省前後の統計部のイメージ、職場の雰囲気

入省前に説明会や座談会に参加した際、対応して下さった職員の皆様がとても親切で和やかな雰囲気だったことを覚えています。そのイメージは入省後も変わらず、わからないことは周囲の先輩方が快く親切に教えてくださり、安心して働ける環境だと思います。



余暇の過ごし方

スキューバダイビングや旅行が趣味なので、休暇を取得して連休を作り、海外旅行や遠出をすることも多いです。普段の休日は、家でドラマを見たり翌週のお弁当の準備をしたりと、インドアに過ごすことが多いです。

学生へのメッセージ、就活中にやっておいた方が良いこと

統計企画管理官付
海外協力班
海外協力第2係

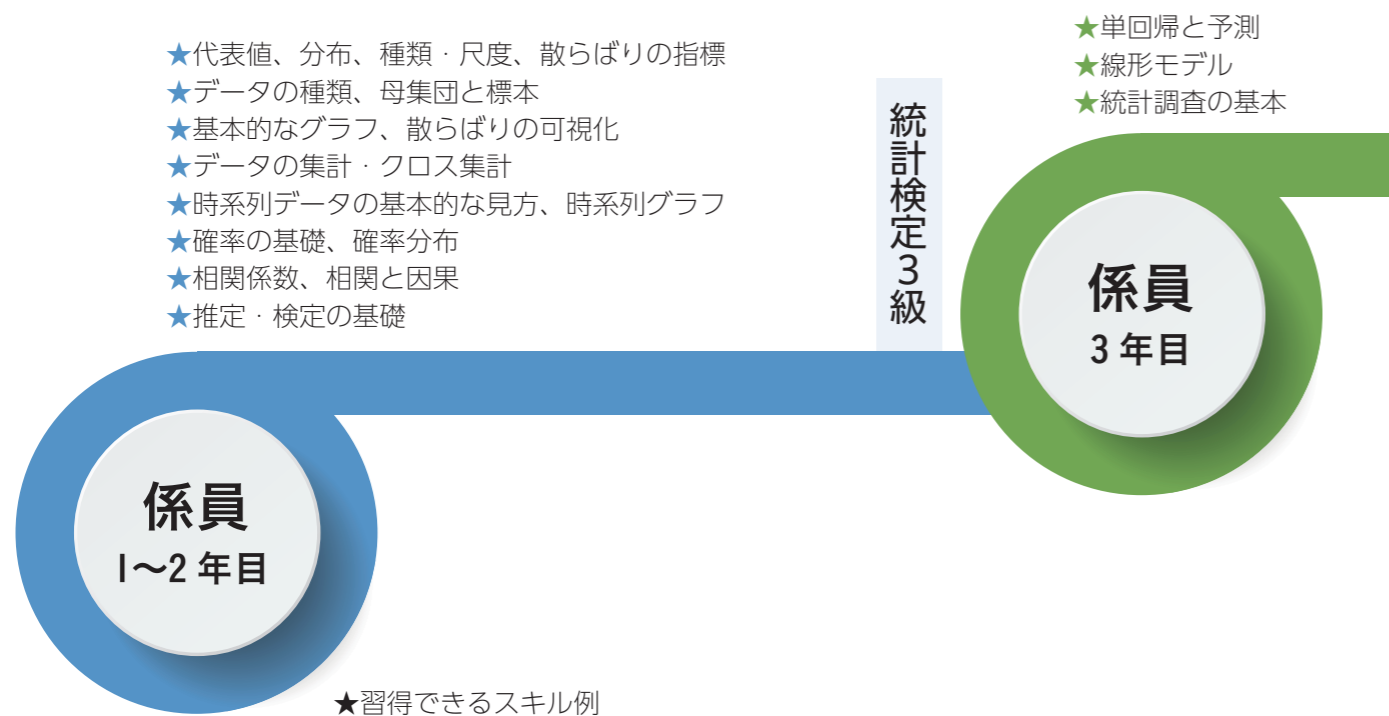
甘中 輝

自分の可能性や選択肢を少しでも広げられるように、気になる官庁や企業の説明会等には積極的に参加してみてください。そうしているうちに、職場環境や職員の人柄を含め自分的に一番しっくりくる職場が見つかると思います。



統計の知識がなくても大丈夫！ 充実した研修でスキルを身につけられます！

統計部が実施する研修のほか、総務省、デジタル庁等が実施する研修など、初めて統計を学ぶ方からベテランの方まで、様々な研修や資格取得に向けた講座を用意し、職員の資質向上を図っています。



Column

データサイエンティスト育成研修（※）

データに基づく政策立案や効果検証ができる人材を育成することを目的として、データサイエンティスト育成研修を実施しています。

外部の専門家を講師として招き、統計学、数理、EBPM、ITなどのデータ分析の基礎となる内容に加え、機械学習などの最新の分析手法について学べる内容となっています。



データサイエンス (DS) = A ∩ B ∩ C



出所：Drew Conway, The Data Science Venn Diagram, <<http://drewconway.com/zia/2013/3/26/the-data-science-venn-diagram>> を翻訳・加筆

主な研修メニュー

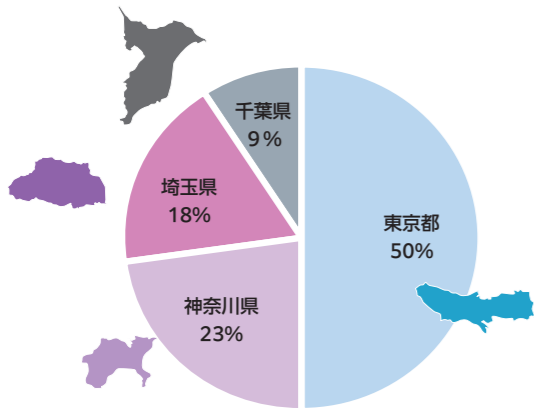
- 統計スキル
- 農林水産業・行政スキル
- ビジネススキル等

	係員 1～2年目	係員 3年目	係員 4～7年目	係長	課長補佐
	農林水産統計専門職員研修（統計検定）				
統計スキル	統計部職場研修（各課室の調査内容と役割）	農林水産統計専門職員研修（2年目コース） 現場体験（水稲作況調査、面積調査）			
	統計部 スキルアップ講習会、データサイエンティスト育成研修（※） オンライン統計研修（総務省）				
	初めて学ぶ統計	統計担当者向け入門	統計データアナリスト 補研修	統計データアナリスト研修/本科（総合課程）	
農林水産業・行政スキル	農村派遣研修（事前勉強会・報告会）	統計部 個別研修プラン			
	統計部 簿記研修、調査の民間委託に対応した予算・執行・契約講習会				
	語学研修、在外研究員、実践的研修（予算業務、国会業務、法令制度、報道研修）、情報システム統一研修（デジタル庁）				
ビジネススキル等	新規採用者研修		係長養成研修	係長 フォローアップ研修	課長補佐等 養成研修 課長補佐等 フォローアップ研修

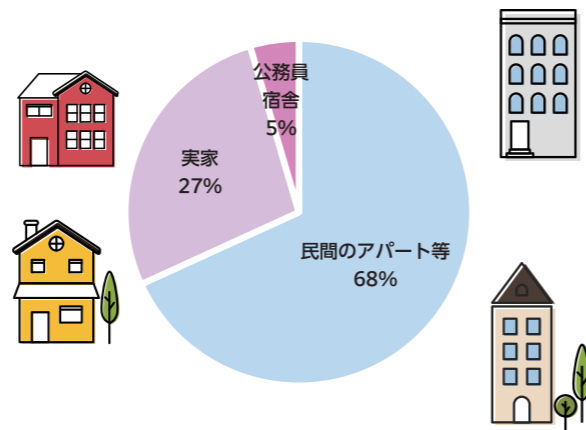
入省後の生活をイメージしてみよう

統計部採用の若手職員にアンケートを実施しました。

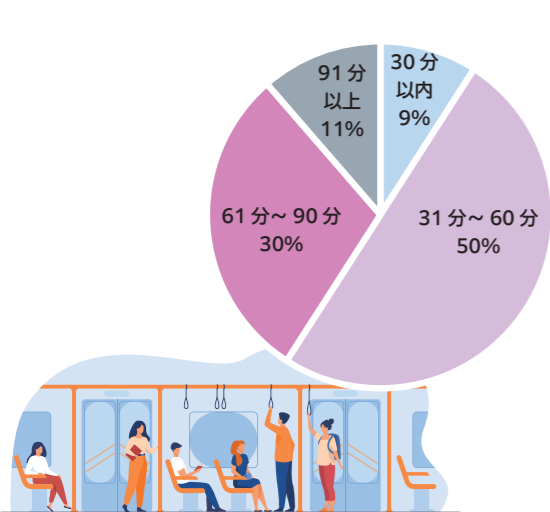
現在の居住地



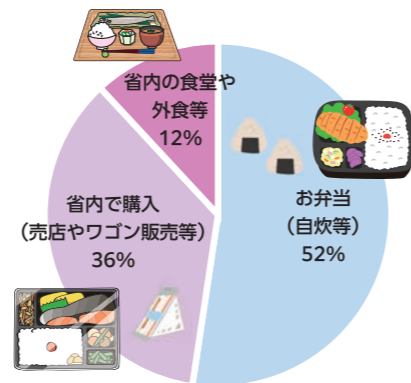
住居形態



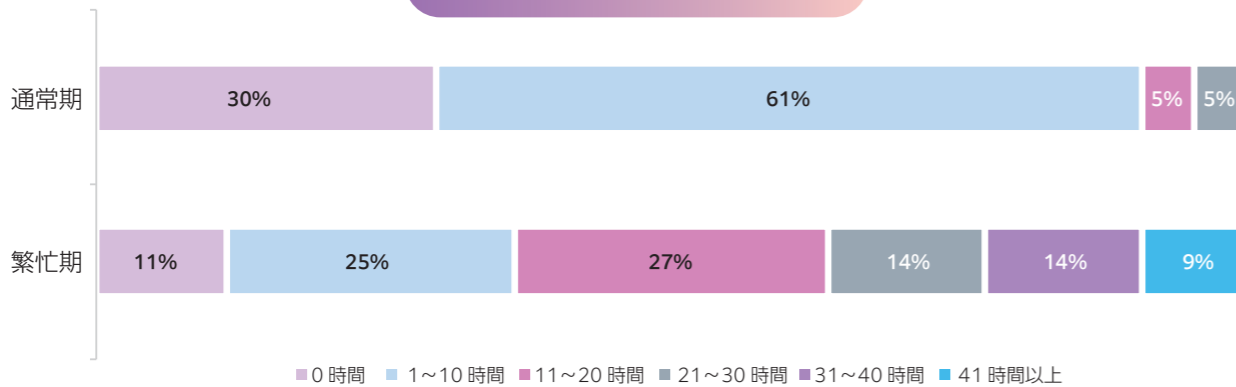
通勤時間



普段のランチタイム



平均超過勤務時間（1か月）



組織紹介（令和6年1月現在）



本省



地方組織



※地方農政局の所在地：東北（仙台）、北陸（金沢）、関東（さいたま）、東海（名古屋）、近畿（京都）、中国四国（岡山）、九州（熊本）
 なお、これとは別に各県庁所在地などに数名から数十名程度が常駐しています。
 ※沖縄は内閣府沖縄総合事務局が担当しています。

